

# 高岸税務会計事務所 ニュースレター

当税理士事務所は気軽に相談でき、親身に  
相談にのる税務・財務のスペシャリストです

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町 9-19-202

電話番号：072-683-0230 FAX：072 - 683-0376

<http://www.gishitax.com/>

mail：[info@gishitax.com](mailto:info@gishitax.com)

お気軽にお問い合わせ下さい 072-683-0230

(JR 高槻駅・阪急高槻市駅から徒歩約3分)



【コラム】 エシカル消費という言葉をよく聞くようになりましたね。途上国への支援付き商品などを買うことで社会に貢献する新しい消費スタイルです。若者を中心に社会貢献への関心が高まっているようですが、人のお役に立つことが自分の人生を豊かにすることだと気づき始めたのかもしれませんがね。

## 「クローゼットの衣服のポケットから通帳が」

本社事務所の残土置場中約2mに埋められたスーツケース内、自宅のクローゼットに収納された衣服のポケット内、トランクルームに保管されたダンボール内の金庫や「空茶箱」と表示のある茶箱内。これらは平成二十二年、実際にあった不正資金の隠し場所です。

国税庁の平成二十二年検査調査発表によると、査察に着手した件数は196件で検察庁に告発された件数が156件でした。告発した脱税額は総額213億円で、一件あたりの脱税額は平均で1億3700万円と前年度の1億7100万円より減少しました。また、平成二十二年中に一審判決が言い渡されたのは152件ですべてに有罪判決が出され実刑判決は6人でした。



今回、告発が多かった業種は都市部における地価高騰の影響を受けた不動産業のほか、建設業や運送業などが多くみられました。主な脱税の手段や方法は、経費の架空計上や課税仕入に該当しない人件費を課税仕入となる外注費に科目仮装したもの、税金を極端に低くしている国や地域に関係法人を設立し、架空の外注費を計上するといった国際取引を利用したものなどがありました。こうした特別なケースを除き、私たちは日々懸命に努力し、額に汗した成果の一部を税金として適切に納めています。ですからぜひ、これからの日本のために有効活用していただきたいですね。

## 【なぜ売れるの？「歩きにくく負担のかかる靴」】

履いて歩くだけでシェイプアップできるトーンングシューズ。「トーンング」とは体の調子やバランスを整えるという意味で、この鞋底を敢えて不安定にすることでふくらはぎや太ももに適度な負荷をかけ、姿勢の矯正や筋力アップに効果を発揮します。美脚やヒップアップを目指す女性向けのスポーツシューズが主流でしたが、メタボを意識するビジネスマンのスーツに合うデザインも続々と増えています。心地良さととは逆の健康発想、「歩きにくく疲れる」がポイントです。



【今月の教えてキーワード：後発医薬品】

先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に同じ有効成分を使って製造・販売される医薬品のこと。ジェネリック医薬品とも呼ばれる。商品名ではなく有効成分名としての一般（generic name）で処方されるために、こう呼ばれるようになった。研究開発費が少なくて済みさらに薬としての承認手続きも簡素化されているので、価格を安く抑えるメリットがある。厚生労働省も医療費抑制の有力な手段として使用推進に力を入れている。

【「当たり前」をあらためて考える】

「ゆとり、ゆとり」と騒いだ後、今度は「個性、個性」と追い立てるような教育に今の子どもは大変だなあと同情を覚えます。

「ゆとりか個性か」という話ではなく、物事はすべてバランスの問題です。そんな当たり前のことにも気づかなくなっているのが今の世の中だとしたら、我々もうっかりはしてはいられません。何に対しても一般的なことしか考えられないような思考回路に陥っていないか今一度、振り返ってみましょう。



近所にできた新しいコンビニを見て、「またコンビニか。最近このへんにやたらコンビニができるけど商売のつぶし合いじゃないのか」と疑問を抱く人、「新しいコンビニだ。ラッキー」と単純に喜ぶ人、もしくはまったく無関心な人、同じもの

を見ても反応は様々です。どれが正解ということではなく、疑問がないというのは思考回路がマンネリ化している証拠でしょう。商売をしていれば人一倍「発想法」や「思考法」が気になるところですが、その前にまず必要なのは漠然とした疑問を抱く感性です。トヨタでは、異常に気づいたら「なぜ」を5回繰り返すことを徹底しているそうです。これが有名なトヨタの「なぜなぜ5回」。「なぜ」を5回繰り返すと本当の原因にたどり着き、問題点が浮き彫りになるからだそうです。「なぜなぜ5回」のプロセスによって社員は自分で考える力を身につけ、現場力が強化されていくのでしょう。ニュートンは「なぜ」を繰り返して引力を発見しました。海外のある企業は、トヨタより2回多い7回の「なぜ」で世界有数の大企業にのし上がったという話もあります。幼い子どもはしつこいほどに「なぜ」を連発して大人をうんざりさせますが、そうやって未知なるものと出会いながら成長していくのです。当たり前だと思っていることを、今あらためて問い直してみましよう。なぜそのサービスを提供するのか。なぜ顧客との信頼関係が大事なのか。なぜこの商売を始めたのか。そして、なぜ続けていくのか・・・。商売においての「当たり前」など存在しないと気づいたとき、必勝のブレークスルーが起こるのでしょ

今を生きる  
先人の言葉

勇氣とは、恐  
怖心に抵抗  
することである

『トム・ソーヤーの冒険』の著者として有名なマーク・トウェインの言葉。不安や恐怖に立ち向かったとき、結果はどうであれ、必ず将来の自信に繋がるものである。



サラリーマン妻  
川柳  
女（よ）な（な）い（の）  
ブ（よ）言（え）ば、  
な（な）い（の）

献立は  
秋空  
みたい  
に  
変  
わ  
ら  
な  
い